

講義コード	21G1100200	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	新井 利民	開講期	1期
科目名	社会福祉の入門				新井 利民			1期	
履修前提条件									
授業の目的	社会福祉は、すべての人の「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせが実現するように、多様な人々の生き方に共感し、具体的に関わる手立てを考え、支援やその仕組みを創造・実践する営みです。いわば、社会全体で「社会をケアする」ことと言えるでしょう。この授業では、社会をケアすることについて、読み、聞き、感じる機会を提供します。社会福祉を学ぶための「地図」を手に入れて、探究を進めてください。								
到達目標	様々な生活課題のある人々の「想い」と「背景」に寄り添い、そこから得られた自らの感情を説明できる。 様々な生活課題のある人々と「社会」との関係性について理解し、説明することができる。 本の精読、教員やゲストスピーカーの講義から「学び」を獲得する方法を身につけ、授業を通じて運用することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	毎回提示する予習課題を実施したことを前提に授業を進めるので、必ず取り組むこと。これを含む授業外学修時間は60時間以上を目安に行うこと。								
授業計画	【第1回】本の読み方・話の聞き方・メモの取り方・予習の仕方(テキスト序章) 【第2回】夏休みにやせる子どもがいるのはなぜ?(テキスト第1章) 虐待された子どもはどのような?(テキスト第8章) 【第3回】なぜ「施設」に住む人がいるの?(テキスト第6章) 【第4回】認知症になると何もわからなくなるの?(テキスト第3章) 【第5回】ゲストスピーカー:「意思疎通」とケアの実践 【第6回】なぜ路上で暮らす人がいるの?(テキスト第5章) 罪を犯した人は幸せになっていいの?(テキスト第9章) 【第7回】ゲストスピーカー:貧困問題への支援の現場から 【第8回】好きになる性は異性だけなの?(テキスト第7章) 【第9回】難民の暮らしは誰が支えるの?(テキスト第11章) 【第10回】多文化共生社会にどう向き合うべきか?(テキスト第12章) 【第11回】ゲストスピーカー:「外国人支援」の現場から 【第12回】被災者の命と暮らしをどう支えるのか?(テキスト第10章) 【第13回】授業全体のまとめ(テキスト終章) ゲストスピーカーは、対面講義、Zoomによる同時双方向講義を予定しています。								
成績評価の方法	中間レポート(50%)および期末レポート(50%)により評価します。								
フィードバックの内容	Microsoft Teamsを介して授業に対する感想や質問を求め、その内容を次の授業に反映させます。								
授業実施形態について	原則対面授業ですが、ゲストスピーカーのオンラインによる同時双方向型授業、担当教員によるオンデマンド授業を行うことがあります。								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『基礎ゼミ社会福祉学』	與那嶺司ら編著	世界思想社	2023	9784790717874					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『ケアとは何か:看護・福祉で大事なこと』	村上靖彦	中公新書	2021	9784121026460					
『図解でわかる災害福祉』	山本克彦編	中央法規出版	2025	9784824303233					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『ケアとは何か:看護・福祉で大事なこと』	村上靖彦	中公新書	2021	9784121026460					
『図解でわかる災害福祉』	山本克彦編	中央法規出版	2025	9784824303233					
教員からのお知らせ	教科書を必ず購入してください。教科書の内容を中心に講義やディスカッションを行いますので、期日までに精読し、わからない言葉等を調べておいてください。本の読み方、予習の仕方は、LMSのオリエンテーションと第1回授業にて解説します。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、Microsoft Teamsのチャット機能でも受付けます。								
アクティブ・ラーニングの内容	指定図書の指定箇所をあらかじめ読み、課題を行ったうえで授業に参加すること。能動的に授業外学習を行うこと。								
実践的な教育内容									
その他									